

台風第19号に伴う災害廃棄物の受入れについて

台風第19号に伴う宮城県丸森町の災害廃棄物について、試験焼却の結果、廃棄物の性状やコンテナによる搬入など、問題なく処理を実施することが確認できましたので、以下のとおり、本格的な受け入れを行います。

1 処理対象物

台風第19号に伴い仮置場に搬出された衣類、布団、生活雑貨等の可燃物

2 受入期間

令和元年12月19日から令和2年3月31日まで

3 受入予定量

約1,500 t

4 処理費用

1 kgあたり13円

5 受入の流れ

丸森町、日本貨物鉄道株式会社（JR貨物）、川崎市及び横浜市の四者で覚書を締結し、川崎市が所有する廃棄物輸送用コンテナを活用し、丸森町内の仮置場から横浜羽沢駅までJR貨物にて鉄道輸送して、都筑工場において処理します。

放射能測定結果について

1 試験焼却に向けた丸森町の測定（丸森町仮置場）

(1) 空間線量

測定日	測定結果	
11月26日	0.04～0.06 μ SV/h	※1

(2) ごみの放射能濃度

試料採取日	セシウム 134	セシウム 137
11月21日	不検出	不検出
11月22日	不検出	不検出

2 試験焼却時における横浜市の測定（都筑工場）

(1) 空間線量

測定日	測定結果	
11月27日	0.04～0.05 μ SV/h	※2

(2) ごみの放射能濃度

試料採取日	セシウム 134	セシウム 137
11月27日	不検出	43.5 Bq/kg

(3) 焼却灰の放射能濃度

	試料採取日	セシウム 134	セシウム 137	
主 灰	11月28日	不検出	28.1 Bq/kg	※3
飛 灰	11月28日	不検出	51.3 Bq/kg	

3 本格焼却に向けた横浜市の測定（丸森町仮置場）

	試料採取日	セシウム 134	セシウム 137
ごみの放射能濃度①	12月4日	不検出	不検出
ごみの放射能濃度②			
ごみの放射能濃度③			
ごみの放射能濃度④			
ごみの放射能濃度⑤			

※1、2 横浜市の放射線モニタリングポスト（保土ヶ谷区仏向西）における直近3か月の測定値は、0.029～0.063 μ SV/h となっています。

※3 平成28～30年度の都筑工場における主灰及び飛灰の測定結果は、主灰が不検出～39 Bq/kg、飛灰が不検出～91 Bq/kg となっています。